週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端２－７－17
井門池之端ビル　〒110-0008
株式会社観光経済新聞社
電話　03(3827)9800(代)
FAX　03(3827)9730

北海道支局
札幌市中央区北６条西27丁目
1-3-705　〒064-0826
電話　011(624)5030
FAX　011(621)2530

関西支局
大阪市北区梅田1丁目11番4－1000号
大阪駅前第4ビル　〒530-0001
電話　06(7636)6377
FAX　06(6131)6199

九州支局
福岡市早良区室見1－12－1－508
〒814-0015
電話　070(6666)6350
FAX　092(836)7992

購読料年間 19,800円（税・送料込）
（税抜18,000円）

振替口座　00140-2-86888番
e-mail info@kankokeizai.com

PMS導入
あきらめていませんか？
宿泊施設様向け
業務支援システム /PMS
every+1®
だれでも どこでも すぐに つかえる
GRIT株式会社
TEL:050-7112-0054

2期目の所信、活動方針

全旅連 井上善博会長に聞く

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）の第103回全国大会が6月17日、東京のホテルニューオータニで開かれる。全国から組合員旅館・ホテル経営者、関係者千人以上が参集。人手不足をはじめ、宿泊観光業界が直面する課題の解決に向けて議論を深める。就任2期目を迎える井上善博会長（福岡県原鶴温泉・ほどあいの宿六峰館社長）に「井上体制2期目の所信、活動方針」を聞いた。（聞き手＝本社・森田淳）

人手不足解消へ 若い世代に働き掛けを

――「井上体制」1期2年の振り返りを。

宿泊観光業界を良くしたい、という思い一心で今まで無我夢中で取り組んできた。

まず、思い起こすのは昨年元日に起きた能登半島地震。被災者の方が大変な思いをしている中で、その受け入れに組合員の旅館・ホテルの皆さまに尽力いただき、事務局員も精力的に動いた。

改めて感謝を申し上げたい。

――被災者の受け入れは、東日本大震災など、大災害が起きるたびに業界挙げて取り組んできた。

東日本大震災の時、私は全旅連の青年部長を務めていた。

われわれは地域文化のショーケースとして、地域の伝統を受け継ぎつつ、お客さまをもてなすこと、ひいては地方創生に寄与することが重要な役割だと考えている。

同時に、災害時の被災者受け入れもわれわれにとっての大きな役割だ。

東日本大震災の時、業界が行った一連の活動を目の当たりにして、われわれの役割について改めて真剣に考えさせられた。

――全ての都道府県旅館・ホテル組合が行政と災害協定を結んでいる。

われわれが行政から重要な社会インフラだと認識されているからこそであり、大変意義深いことだ。

――1期目でさらに思い浮かぶことは。

全旅連という組織には、さまざまな地域の方、年代の方が所属している。業界を良くしたいという思いを皆さん、共通してお持ちだが、先輩方と若い方たちでは、当然かもしれないが、見る視点が異なったりする。コミュニケーションの手段も今までの紙媒体からSNSなどデジタルに変わってきている。そうした状況の中で私自身、さまざまなバックグラウンドを持つ人たちが集まる組織のかじ取りの難しさを痛感するとともに、大変勉強になった。

――宿泊観光業界の現状について。人手不足が相変わらず深刻だ。

人手不足、人材不足については、外国人材の就労に向けた試験を行う宿泊業技能試験センターが全旅連を含めた宿泊4団体で設立され、現在は全旅連の会長代行で北海道ホテル旅館生活衛生同業組合理事長の西海（正博）さんが理事長となり、スピード感をもって運営に当たっている。おかげさまで受験者も順調に増えている。

今後は、人手を欲している組合員の旅館・ホテルの皆さまに、全旅連が試験の合格者を紹介するなど、一歩踏み込んだ取り組みを行っていきたい。

日本人、外国人を問わず、特に若い世代にわれわれ宿泊業に関わってもらえたらうれしい。これらの世代に向けての働き掛けは青年部とも連携を取り、考えていきたい。

――一部で問題になっているオーバーツーリズムについて。

何をもってオーバーツーリズムと呼ぶのか定かではないが、お客さまが来ることによって地域が潤うのか、地域住民が幸せになるのか、という観点で見るのが大事ではないか。

外国人旅行者数でみると、ほとんどお客さまが来ていない地域もあり、その差が大きくなっているのは事実だ。国も観光客の地方分散を呼び掛けており、全旅連としても、地域の宿が外国のお客さまの受け入れ準備を進めていくことが重要だ。

――諸経費が高騰しており、旅館・ホテルも経営に苦労されている。

食材や燃料など、以前の金額ではとても買えない状況。人手不足に伴い、人件費も上がっている。ありとあらゆるところでコストが上がり、最近さらに拍車がかかっている。適正な価格転嫁が必要だ。

東京や大阪のように、観光や出張のお客さまが集まる地域では比較的価格転嫁がしやすい。しかし地方となると、料金を上げると従来のお得意さまや地元のお客さまの足が遠のくという問題がある。一朝一夕では解決できない問題で、悩ましいところだ。

――会長2期目を迎えるに当たっての所信と、全旅連の新体制、今年度特に注力して取り組むことは。

われわれ宿泊観光業界が直面する課題は多岐にわたっている。解決のためには、その内容ごとに深い知識を持つ人たちに集まってもらうことが必要だ。

新年度は委員会を刷新し、定款に基づいた8部会制に再編成することを検討している。

第1部会は、総務的中核部門として組織基盤の整備と運営体制の強化を担うとともに、全国旅館会館、全旅連事業サービス、全国旅館ホテル事業協同組合など、全旅連と関係の深い諸団体との関係の在り方を精査する。

第2部会は「湯・宿」文化推進部会の名称で、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、関係諸団体と連携して活動する。日本旅館協会と共同で、「旅館の定義」についても検討する。言語化したものを媒体に落とし込み、国内外にPRする。

（5面に続く）

●観光経済新聞は「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援します

「温泉文化」のユネスコ登録 関係団体と連携して活動

観光指針

本州が続々と梅雨入り。10日には関東甲信、北陸が梅雨入りし、本格的な雨の季節を迎えた。日本には四季折々の美しい自然と、季節に育まれた豊かな暮らしがある。それが観光の魅力にもなっている。梅雨はどうだろう。うっとうしいと思う人も多いだろうが、雨に煙る新緑の山々や水田は美しい。アジサイの花、ホタル狩りが楽しめる季節でもある▼とはいえ、国内の観光業界にとって、ゴールデンウイーク（GW）明けの5月中旬から、梅雨の季節である6月の期間は一般的に閑散期である。GWに散財したばかりで、祝日による連休がなく、雨も多い。なかなか旅行には出掛けない▼ただ、訪日外国人旅行者が増加し、閑散期の様相もだいぶ変わってきた。今年のインバウンドは、スノーシーズン、桜シーズンと好調に推移。4月も391万人で単月として過去最高を記録した。5、6月の動向も注目されるが、インバウンドにおいても、これまでは夏を控えたこの時期は旅行需要も〝一服〟といった感があった。今年はどうだろう▼繁閑の差は観光産業の課題といわれ、そのために非正規雇用が多く、生産性が上がらないと指摘されてきた。観光客を津々浦々へ、そして閑散期にも誘客できれば、課題の解消につながる。大雨災害への備えと共に、梅雨ツーリズムの振興策も検討したい。【S・M】

観国之光 クニノヒカリヲミル ■497■

地震から間もなく1年半

復興に向け寄り添おう

石川県の能登地域は、2024年1月に発生した地震から、間もなく1年半がたつ。同年9月には豪雨が襲ったこともあり、復興は道半ばだ。いや、思った以上に遅いように感じる。

6月6日、首相官邸で防災立国推進閣僚会議と能登半島地震復旧・復興支援本部の合同会議が開かれた。

石破茂首相は「能登においては、なりわいの再建や公費解体の実施など、復旧・復興の取り組みが着実に進められている。6月以降は、2月に創設した『能登創造的復興支援交付金』を活用した復興事業が開始される。被災自治体が地域のニーズに応じて的確に事業を推進できるよう、国として、引き続き被災地からの相談に丁寧に対応し、伴走支援を」と指示した。

復旧・復興事業がスピード感をもって着実に実行されることを願う。また、梅雨シーズンに入り、大雨による被害も予想される。だけに、降雨の際の警戒に万全を期してもらいたい。

5月18日、天皇皇后両陛下の長女、愛子さまが石川県七尾市の和倉温泉を訪問、「お祭り会館」などを視察した。和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会の多田健太郎代表らから温泉旅館のまちづくり復興プランについて説明を受けられたという。

にこやかに応じられる愛子さまの姿に元気づけられる人は多かったのではないか。皇族の方々が被災地を訪問なされることでそこにスポットが当たり、人々の関心が集まることは決して無意味ではない。

奥能登地域の小中学生やその保護者に夏休みの間、大阪・関西万博を含む2泊3日の大阪観光を楽しんでもらおうと、大阪府はふるさと納税で寄付を募っていたが、目標の6倍以上の寄付が集まったという。

府は当初、寄付額3千万円で160人の招待を想定していたが、1億9千万円ほどに上ったことから、吉村洋文知事は応募者全員990人を招待する意向を示している。

奥能登から万博会場まで来るのはなかなか大変だと思う。旅行費用の捻出、宿泊先の確保など、やることも多い。人気取りだ、など否定的な見方もあるが、大阪観光で気分転換するのも悪くはないのでは。

地震や豪雨で能登半島の観光は大きな被害を受けた。被災した地元の九つの自治体や事業者などで作る「能登半島広域観光協会」では独自の復興計画づくりを進めていると聞く。また、震災遺構として地震の傷あとを保存する動きもある。能登半島が以前のような姿を取り戻すよう、観光業界も引き続き関心を寄せていきたい。【内井高弘】

大阪府は奥能登の小中学生らを万博に招待する

全旅連全国大会特集 4～7面

5件、負債8.5億円

5月のホテル・旅館倒産 帝国データバンク調べ

帝国データバンクによると、今年5月のホテル・旅館経営業者の倒産（負債1千万円以上の法的整理）は5件、負債総額は8億5400万円だった。件数は前年同月比、前月比とも2件増加。額は前年同月比62・5%、前月比82・8%それぞれ減少した。

件数は4カ月連続の1桁台。額は今年に入り月別で2番目に少なかった。

1月からの累計は、件数が前年同期比1件減の31件。負債総額が同467・9%減の91億9500万円。

3件、負債5000万円 旅行業の倒産

帝国データバンクによると、今年5月の旅行業の倒産（負債1千万円以上の法的整理）は3件、負債総額は5千万円だった。前年同月は倒産が発生せず、前月比では件数が2件増加。額は108・3%増加した。

1月からの累計は、件数が前年同期比1件減の7件。負債総額が同59・8%減の1億9900万円。

ホテル・旅館経営業者の倒産

月	2024年 件数	2024年 負債総額（百万円）	2025年 件数	2025年 負債総額（百万円）
1	8	7,786	11	1,209
2	5	4,640	4	617
3	5	672	8	1,544
4	11	1,880	3	4,971
5	3	2,277	5	854
6	4	1,059		
7	10	3,995		
8	1	1,200		
9	4	360		
10	8	4,053		
11	7	1,226		
12	7	1,467		
合計	73	30,615	31	9,195

【コストパフォーマンス抜群】
カーペット染色で手軽にイメージチェンジ
詳しくは当社HP
「カーペット染色アビリティサービス」で検索
創業45年 ㈲アビリティサービス木更津
全国対応、迅速施工 0120-030-042

TOKYU HOTELS
東急ホテルズ
www.tokyuhotels.co.jp

今週の紙面

2面
欧米豪へアプローチ強化
東北観光推進機構は2025年度の事業方針に、訪日インバウンドの誘客拡大に向け、欧米豪市場へのアプローチを強化することを掲げた。

3面
「10年後の旅行」で意見交換
オンライントラベル関係者が集まる国際会議「ＷｉＴジャパン＆ノースアジア」が東京都内で開催。ＡＩの活用、「10年後の旅行」などで意見を交わした。

9面
「会社とともに地域開発」
ＫＮＴ―ＣＴパートナーズ会（ＫＣＰ会）が通常総会。「持続可能な地域開発」を会社とともに行うなど2025年度の事業計画を決めた。

10面
「万博漬け」を25年後に配布
放送作家の小山薫堂氏がプロデュースする大阪・関西万博のパビリオンで、「万博漬け」の漬け作業が行われた。「食のタイムカプセル」として25年後の2050年に配られる。

11面
移住・定住促進も視野に
下呂温泉観光協会が団体客の誘致やＡＩを活用したプロモーションに注力するなど今年度事業計画を決定。移住・定住促進も視野に入れた取り組みを行う。

観光経済新聞
kankokeizai.com

LG Styler™
独自のスチーム技術で
衣類を簡単リフレッシュ
衣類のしわ伸ばし
消臭・除菌
ズボンの折り目ケア
「LG Styler」の導入をご検討なら
LG Electronics Japan 株式会社
電話:03-5299-4602
Mail:b2b2c@lge.com